

平成 22 年第 11 回加西市教育委員会会議録

1. 開会日時 平成 22 年 11 月 25 日 (木) 10 時 00 分
2. 閉会日時 同 日 12 時 00 分
3. 開催場所 加西市庁舎 1 階 多目的ホール
4. 出席委員 委 員 長 荒 木 貴 子
委 員 竹 本 武 志
委 員 高 見 昭 弘
教 育 長 吉 田 廣

5. 委員及び傍聴人を除き、会場に出席した者の氏名

教育次長	深 田 英 世
事務局参事	塩 見 善 則
学校教育課長	後 藤 倫 明
こども未来課長	前 田 晃
こども未来課主幹	後 藤 則 子
自己実現サポート課長	立 花 聡
青少年センター所長	柿 本 博 司
教育総務課長	深 田 秀 一
教育総務課主幹	中 倉 建 男
教育総務課課長補佐	千 石 剛

6. 付議事項

議案第 47 号 北条中学校地震改築工事請負変更契約の締結について
議案第 48 号 平成 23 年度加西市立小・中・特別支援学校教職員異動方針について
議案第 49 号 平成 23 年度加西市立加西特別支援学校高等部入学者選考要綱について
議案第 50 号 文化財審議委員の委嘱について
議案第 51 号 市指定文化財候補物件の諮問について

7. 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

8. 質問及び討議に内容

議案第 47 号 北条中学校地震改築工事請負変更契約の締結について

議案第 47 号北条中学校地震改築工事請負変更契約の締結について、教育総務課長より、平成 22 年 6 月 25 日に請負契約を締結した北条中学校地震改築工事について、請負契約の変更をするため、教育委員会の権限に属する事務の委任等に関する規則第 2 条第 24 号の規定により、同意することについて委員会の議決を求めるものと説明する。今回の変更により 49,063,350 円の増額で、請負全体金額は 846,853,350 円となり、変更内容は環境に配慮し資源の再利用を目的としたもので、主として、外壁塗装を高反射性・断熱性の材料に変更、太陽光利用・太陽熱利用として保健室に電気式床暖房、特別支援教室に温水床暖房、校務員室で給湯に利用、中庭には透水性のある材料に変更、花壇及び運動場への散水に雨水利用として雨水貯水タンクを設置、駐車場舗装をガラスパーキングに仕様変更、中庭には熱中症対策としてミストユニットを導入、便所、廊下、多目的ホール及び外灯を LED に仕様変更、旧校舎解体コンクリート殻の再利用、将来の自転車通学及び休暇中の部活動のため、駐輪場 470 台分を設置などと補足説明する。

高見委員から、変更内容の項目については、当初設計段階で盛り込めなかったのかとの質問があり、教育総務課主幹より、当事業の補助金の性質上十分に考える時間がなかったことと、後に環境にやさしい学校にするという方向になったためと答弁する。また、この議案が教育委員会の議決事項に該当するのかとの質問があり、教育委員会の権限に属する事務の委任等に関する規則、第 2 条第 24 号に該当するものと答弁する。

竹本委員から、保健室の電気式床暖房については、めずらしい取組みで、生徒たちにとってありがたいのではないのかとの感想がある。

最後に、高見委員から変更による追加工事の増額は決して望ましいことではなく、当初設計の段階で盛り込むようにとの意見があり、今後は十分留意するという事で承認を得る。

議案第 48 号 平成 23 年度加西市立小・中・特別支援学校教職員異動方針について

議案第 48 号平成 23 年度加西市立小・中・特別支援学校教職員異動方針について、学校教育課長より、教育委員会の権限に属する事務の委任等に関する第 2 条第 13 号の規定により平成 23 年度の加西市立小・中・特別支援学校教職員異動方針を定めるものと説明する。基本方針の概要や異動方針、新採用方針の要領について補足説明する。

荒木委員長より、配置換の際の所有免許等の確認状況について質問があり、確認は常に行っており、適材適所に配置したいと答弁する。また、中学校等では先生の数が少ない場合、免許状以外の科目も受け持つことがあるのかとの質問があり、現在は中学校 1 校でその事例があると答弁する。

竹本委員より、現場の教師が教育委員会の姿勢を感じる重要なことの一つが人事異動であ

り、能力や意欲のある人が抜擢され、組織強化につながり、結果、加西市教育の改革と前向きな教育委員会の姿勢が伝わる。公平かつ斬新な人事異動を心がけてほしいとの要望がある。

高見委員より、女性教員の比率について質問があり、65%程度と答弁する。また、小学校では女性教員が多い世界だが、管理職への登用は一人もないのかとの質問があり、今年については教頭への候補者がいないと答弁する。

高見委員や竹本委員より、女性教員にも管理職を目指してほしい旨の意見があり、吉田教育長より、女性管理職登用については、加西市の目指す管理職像や管理職になる基準などを示し、子ども一人一人の重みを感じるような管理職の育成が必要であろうと答弁し、原案どおり承認される。

議案第 49 号 平成 23 年度加西市立加西特別支援学校高等部入学者選考要綱について

議案第 49 号、平成 23 年度加西市立加西特別支援学校高等部入学者選考要綱の制定について、学校教育課長より、加西市立加西特別支援学校学則第 8 条第 2 項の規定により平成 23 年度加西市立加西特別支援学校高等部入学者選考要綱について別紙の通り定めたいので委員会の議決を求めるものと説明する。内容については、去年からの変更点として、学力検査から適性検査への変更となったことを説明し、その他、概要を補足説明した。また、参考として現時点の進学希望者の状況を説明する。

竹本委員より、近年の志願者数や募集定員の充足率の質問があり、近年は高等部への進学が増える傾向にあると答弁。荒木委員長より定員の有無の質問があり、特に定員はないが施設の規模上、満杯の状況が近いと答弁し、原案どおり承認される。

議案第 50 号 文化財審議委員の委嘱について

議案第 50 号文化財審議委員の委嘱について、自己実現サポート課長より、文化財の保護に関する条例第 18 条の規定により、次のものに文化財審議委員を委嘱したいので委員会の議決を求めるものと説明する。委嘱するものは山本康彦さん他 7 名で、新任 1 名、他の方は再任。任期 2 年で平成 22 年 10 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日と補足説明し、原案どおり承認される。

議案第 51 号 市指定文化財候補物件の諮問について

議案第 51 号市指定文化財候補物件の諮問について、自己実現サポート課長より、文化財保護に関する条例第 3 条及び第 19 条の規定により、市指定候補物件として審議を諮問したいので委員会の議決を求めるものと説明する。文化財の名称及び所有者は、大日如来坐像 1 軀、二天立像 2 軀で鎮岩町に所在し、所有管理は鎮岩町。もう一つは亀山古墳副葬品（埋納施設

出土遺物)で、所有は加西市と補足説明する。

荒木委員長より、所有者と管理者の責任の所在について質問があり、原則、所有者が管理し、責任は区長さんにある。市は物件が痛んだり一部破損した場合は、管理について所有者の方に指導を行なう等の答弁をし、原案どおり承認される。

9. 議決事項

議案第 47 号 北条中学校地震改築工事請負変更契約の締結について

原案どおり可決

議案第 48 号 平成 23 年度加西市立小・中・特別支援学校教職員異動方針について

原案どおり可決

議案第 49 号 平成 23 年度加西市立加西特別支援学校高等部入学者選考要綱について

原案どおり可決

議案第 50 号 文化財審議委員の委嘱について

原案どおり可決

議案第 51 号 市指定文化財候補物件の諮問について

原案どおり可決

10. 報告事項

(1) 教育長の報告

教育長より、兵庫県都市教育長会議がいこいの村であり、社会教育関係、教科担任制、給食費の滞納状況、視聴覚ライブラリの状況、公立私立保育所収支、講演会依頼の方法と支援についての議論があった。幼保の統廃合関係説明会が福祉会館であり、民営化の問題、授業料の問題、保護者向けの説明会の要望等があった。八王子会館で宇仁小学校建設の話し合いがあり、過去の経緯や陳情をどう受け止めているか、議会の議決をどう受けているか、耐震診断を現在行なっているがそれを踏まえて建設に向けてどう動いていくか、現状の宇仁小学

校と他校の教育格差をどう受けとっているのか、参道返還について等の話し合いがあった。

議会関係では、ホームベーカーリーについては9月議会で否決、今後、特別支援学校を軸にしながら利用方法の検討と活用を協議し、予算化を目指す。総務委員会では、北条中学校改築工事の変更内容についての議論があった。

教育委員会評価については、分かりやすい表現をしてほしい、数値化してほしい等の意見があり、今後、市民が見て分かりやすい表現をしていきたい。

イオンから、売り上げの一部を図書券にして小学校等に寄贈したいとの申出があり、各校1万円の図書券をいただくことになった。事業仕分けでは一部研修費で要改善があり、今後改善していきたい。賀茂小学校2年生の三船星矢君が、手のひら文庫の読書感想文の全国コンクールにおいて、低学年で最優秀をいただいた。昨日の総合計画の会議で、加西になぜ人が来ないのかという議論や、加西の教育の質を上げてほしいという意見があった。などの事項を報告する。

(2) 教育次長の報告

教育次長より、11月18日開催の第3回目教育振興基本計画審議会で交わされた議論等を紹介し、基本計画では信頼される学校、市民に親しまれる学校づくりを考えて策定していくこととする。第3回学校あり方委員会では、小中一貫がよいかどうかの議論があり、今後、先進地の研究や問題点の確認をして議論に活かすこととする。などの事項を報告する。

また、青少年センター所長より、(仮称)総合教育センターについて、1階は適用教室として利用し、2階部分は教職員の研修に使用すること、会議室・調理室については、市民にも利用できるように考えていること、今回の12月補正で当初計画していた項目の半分程度の整備ができることなどを報告する。

(3) 教育総務課長の報告

教育総務課長より、平成22年度12月補正予算について(仮称)総合教育センターの修繕費・備品費、ホームベーカーリーの購入費、泉中学校の雨水排水対策の修繕工事費等の内容について説明をする。

教育総務課主幹より、教育施設耐震化事業等の進捗状況について、北条中学校地震改築工事、善防中学校校舎・賀茂小学校体育館・泉中学校武道場耐震補強工事、富合小・泉小・九会小・泉中学校体育館耐震補強工事設計委託・木造校舎耐震診断補強計画委託、加西中学校下水対応工事など状況を報告する。

(4) こども未来課長の報告

こども未来課長より、平成23年度学童保育の実施にかかる利用希望者の状況について説明し、平成23年度に富合小学校で学童保育の開設を検討しており、現在当初予算において財政折衝を行なっていることなどを報告する。

(6) 自己実現サポート課長の報告

自己実現サポート課長より、美術公募展等について、334点の応募があり、各部門について入賞者は資料のとおりであり、約1,200名の入館者が有ったこと。第18回伝統フェスティバルの概要、第34回中央ふれあい祭りについての紹介などを報告、説明する。

11. 協議事項

(1) 報告事項の中から

○総合教育センターの開設について

高見委員より総合教育センターの完成時期について質問があり、青少年センター所長より完成は平成23年4月予定であり、旧の保健所を外部・内部とも改修を行う予定と説明する。

12. 教育委員の提案・報告

○教育振興基本計画について

高見委員より、学校再編は平成27年を目標としているが、この関連付けについて質問があり、調整・整合を図り、また学校あり方委員会との調整も含めて行ないたいと答弁する。

○学校あり方委員会について

高見委員より、3つの施策として、小学校11校を5校へ再編、隣接型小中一貫教育、快適な教育環境の実現とソフト教育の向上があるが、教育の質の向上など加西の特徴が一番大事と考えるとの意見があり、教育次長より、質の向上等については、振興基本計画の中でビジョンが見えるよう、計画をもっていきたいと説明する。教育長より、振興基本計画とあり方委員会について、ハード・ソフト面のすり合わせを行い、市民に提示していきたいと説明する。

○播磨東地区女性教育委員の会研修会の報告について

荒木委員長より、ゴールドタッチ賞の国のスタンスや具体的な内容の報告があったこと。国では4年間かけてこのマニフェストの実行を目指しており、また、教育委員会は政治的に

中立であるが無関係ではない、教育委員は情報の共有し継続性が大切であるという話があったこと。播磨東地区女性教育委員の会については、女性の会にこだわる必要がないため、次年度より中止することになったことなどの報告がある。

○ 教育委員会のおもな活動について

高見委員より、賀茂小学校の全国入賞のニュースは、あまり市民に知られていないようであるが、箕面市では、月一の定例や、市長との懇談会や学習会、2ヶ月に一回の教育委員会日より、学期毎の学校訪問、中学校区における懇談会を実施している。教育委員会では市民へ伝えたい情報が多くあるため、加西の広報に教育委員会のページを設けてもらうなどの検討をお願いしたいとの要望がある。

教育長より、同感であり、ホームページ等の改善など、情報伝達を進めて行きたいと答弁する。

○ 新任教育委員研修会の報告について

竹本委員より、話し合いにおいて、教育委員内部や事務局・市長・議会関係者との話し合いが欠けているため、これらが必要であり、またメディアとの話し合いも必要という研修内容であったとの報告がある。

13. 今後の予定について

- | | | |
|--------------|------------------|----------|
| ・第11回定例教育委員会 | 11月25日(木) 10:00～ | 多目的ホール |
| ・第12回定例教育委員会 | 12月20日(月) 13:00～ | 5階(大)会議室 |

14. 高見委員退任のあいさつ

高見委員より、12月15日までの任期で12月定例教育委員会の日程から、この場で退任のあいさつをさせてほしいとの申出がある。

任期満了まで責任を持って務めるが、今日まで4年の任期を務め、その間には色々なことがあり長かった感を持っている。平成18年に初めての定例委員会に出席した頃は、事務局提案の議案等を追認していたような会議であったが、最近では活発な提言を含め非常に改善されてきた。

しかしながら、学校再編に関する教育委員会案の策定については、前教育長の教育委員が1名欠員状態では検討できないという理由で、これを仕上げられなかったことは残念に思う。学校再編に関する議論が行われるようになったことは良かったが、時間的な猶予は多くなく、早期に方針がまとまるよう願う。少子化の問題はかねてからの課題で、今後の小中学校児童・生徒の人数を考慮し、小中学校の適正規模と配置を踏まえて、質の高い教育を受ける権利を保障することができる学校づくりを目指してほしい。私見ではあるが、学校再編と小中一貫教育

は切り離して考えるのではなく、一体的におこなうべきであると思う。

また、新しい学習指導要領の下、英語や理科など力を入れて充実した教科指導、子どもが深い感動を受けるような授業、国際化に対応した教育、幼稚園も含めた一貫教育など色々な考えを持っているところであるが、今後、一市民として教育委員会の施策を見守っていきたい。

皆様にはお体にご留意のうえ、市長が公言されている全国に誇れる教育都市加西を目指して一層のご活躍を期待しています。

15 その他

なし

この会議録は、事務局職員が作成したものであるが、真正であることを認めここに署名する。

平成 22 年 11 月 25 日

出席委員

(出席委員署名)